



JASDAQ

平成 22 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 幸 栄
(J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 3 8)
問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 部 長 松 橋 英 一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 6 月 28 日開催の取締役会において、平成 22 年 3 月期の内部統制報告書に重要な欠陥がある旨を記載する方針を決議しましたので、下記のとおり、お知らせします。

記

1. 重要な欠陥の内容

平成 22 年 5 月までに、当社の商品在庫を適正に保管する管理責任者であった当該元従業員が、その職位を利用し、当社の商品在庫であるダイヤモンド・ルース（裸石）1 億 92 百万円（仕入価額）を業務上横領していたことが判明しました。当社におけるルース棚卸業務プロセスの内部統制整備状況は、業務責任者が自ら業務を行っていたという職務分掌上の問題を除き、重要な不備、欠陥は見受けられませんでした。しかしながら、不正行為においては、これらの業務プロセスの中で責任者が自ら事務処理を行い自ら報告を行ったことにより、内部統制上の牽制機能が働きませんでした。このことが、不正行為を防止できなかった主な要因です。

そのため、当社は、上記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、重要な欠陥に該当すると判断し、当連結会計年度末時点において、当社及び連結子会社の財務報告に係る内部統制は有効でないものと判断しました。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

当連結会計年度の末日までに是正されなかった理由は、上記財務報告に係る内部統制の不備を認識したのが、連結会計年度末日の翌日以降の平成 22 年 6 月であったためです。

3. 重要な欠陥の是正内容

当社は、再発防止の徹底をはかるため、商品在庫の棚卸資産管理業務において、当該元従業員がその職位を利用し横領行為に至った事に鑑み、商品の横領ができないように棚卸時に商品部門と商品部門以外の部署の役職員がペアとなりダブルチェックを行う等、部門内の業務を改善するとともに、役職者の業務に対しても他部門の役職者との相互牽制が機能する体制を構築します。

また、コンプライアンスの徹底並びに各種の再発防止策の実施等により、このような不祥事を二度と起こさぬよう内部管理体制の一層の強化に努めてまいります。

以 上